

信濃屋、福島大が共同開発

オリジナル弁当を販売

福島 の味 召し 上げ られ



「雪うさぎの恵み弁当」を試食し笑顔の木幡市長(左から2人目)。左は高橋社長



福島の魅力が詰まった「雪うさぎの恵み弁当」

福島市の魅力を盛り込んだオリジナルの「雪うさぎの恵み弁当」が誕生し一日から販売している。三月二十九日、市役所で試食披露会が行われた。

市の補助事業を活用し、市内で弁当宅配業を手掛ける信濃屋と福島大が連携して共同

開発した。モモを使っ た新商品の「桃ご飯」、伊達鶏のみそ焼き、いか人參(にんじん)、「あんぼ柿の天ぷらと桃の甘露煮」など福島 の自然の恵みがたっぷり詰まっている。福島大人間 達文化学類の新井浩 教授や学生が試食し、アイデアを出し合っ た。生方侘奈さんがパッ ケーデザインを考え

た。披露会には市、市観光コンベンション協 会、福島大、信濃屋か ら関係者約十五人が 出席した。信濃屋の高

橋光彦社長が「観光客 に食べてもらえよう な名物弁当を作りたい かった。味はもちろ ン、名前やデザイン にもこだわった」とあ

いさつした。試食した 木幡浩市長は「かまぼ この雪うさぎが顔をのぞかせるなど見た目も かわいい。ご飯もモモ の風味が感じられてお

いし」と笑みを見せ た。価格は税別千二百 円。問い合わせは信濃 屋 電話024(554)1612へ。

福 島 民 友

2019年(平成31年)3月30日(土曜日)

本県の「味」満載 信濃屋が新弁当

福島大と連携 事業所向けの給食弁当事 業を手掛ける信濃屋(福島 市)は、福島大との連携で 県産品を活用した商品「雪 うさぎの恵み弁当」を開発 した。モモをあえた「桃ご 飯」など福島ならではの味 覚を楽しめる。4月から注 文販売を始め、価格は12 00円(税別)。10個から 受け付ける。

市の産学連携に関する補 助金を活用、福島大人間発 達学類の新井浩教授とゼミ の学生が協力した。「福島



福島大と連携して完成させ た「雪うさぎの恵み弁当」

の名物弁当の開発」をテーマに、昨年から学生と協力してメニューやデザインの開 発などを進め、福島に春 を告げる吾妻山の「雪うさ ぎ」から名付けた。

桃ご飯のほか、伊達鶏の みそ焼き、いか人じん、あ んぼ柿の天ぷらなど9品が 詰まっている。同大3年の 生方侘奈さんは「商品化さ れた弁当を見て感無量。味 も好評でほっとした」と笑 顔を見せ、信濃屋の高橋光 彦社長は「商品を通して福 島のPRと地域活性化につ なげていきたい」と話した。 弁当は市役所でお披露目 され、木幡浩市長が試食し た。問い合わせは同社(電 話024・554・161 2)へ。